

事業概要説明シート

事務事業番号

10302200003

事務事業名	国内友好都市交流推進事業		
事業開始年度	1974(S49)年度	担当部署	地域振興部 文化観光課

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)
	■その他(一部委託 少年少女ふれあいの翼における国内旅行業務委託)

目的 (何のために)	友好都市との交流を深め市民への認知度を高める。また、教育・文化・産業等の各分野で相互交流を行うことを目的とする。
---------------	--

対象 (誰・何を対象に)	枚方市の国内友好都市(北海道別海町、高知県四万十市、沖縄県名護市)と枚方市民
-----------------	--

事業内容	国内友好都市と交流する各事業を行う。枚方市・別海町少年少女ふれあいの翼では隔年で中学生が相互に訪問し交流する。 別海町が実施する酪農青年と関西の女性との交流事業「菊と緑の会」に協力する。 友好都市3都市を年ごとに枚方市民が訪問するツアー「友好都市市民訪問ツアー」を実施する。 名護市で開催される「やんばるの産業まつり」に枚方をPRするブースを出店する。 都市間の意見交換や、まちの発展と地域住民の文化・福祉の向上に資する「友好都市サミット」を開催する。
------	--

類似事業	海外友好都市交流事業
------	------------

事業の必要性	国内友好都市との交流を継続・発展し、相互の友好関係を維持するために必要。
--------	--------------------------------------

コスト												
	H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	0.45	人	3,641	千円	0.40	人	3,200	千円	0.40	人	3,162	千円
再任用職員		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			3,641	千円			3,200	千円			3,162	千円
直接経費(B)			1,494	千円			1,917	千円			1,986	千円
総事業費(A+B)			5,135	千円			5,117	千円			5,148	千円

財源内訳												
	H23年度決算				H24年度決算				H25年度当初予算			
国庫支出金				千円				千円				千円
府支出金				千円				千円				千円
受益者負担 (使用料等)			51	千円				千円			45	千円
その他				千円				千円				千円
一般財源			5,084	千円			5,117	千円			5,103	千円

平成24年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	少年少女ふれあいの翼(国内旅行業務委託費、消耗品費等)	1,160 千円
	菊と緑の会(参加負担金、食糧費等)	78 千円
	やんばるの産業まつり(通信運搬費、イベント出演報償金等)	242 千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10302200003

事務事業名	国内友好都市交流推進事業		
事業開始年度	1974(S49)年度	担当部署	地域振興部 文化観光課

活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
	① ふれあいの翼、菊と緑の会、友好都市市民訪問ツアーの参加者数合計	人	45	46	55
②					
③					
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 参加者一人あたりの事業費	円	112,967	111,239	92,789
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	友好都市の認知度及び教育・文化・産業等の各分野で相互交流の向上				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)					
特記事項	平成23年度の経費が高いのは「友好都市サミット」を別海町で開催したため。友好都市サミットの今後の開催は各年での周年事業に合わせて開催する。次回は平成26年度四万十市(友好都市提携40周年)で開催の予定。 「青少年ふれあいの翼」は隔年で相互訪問をしているので、年度により経費が異なる。平成24年度は別海町を訪問、要所で参加者が郷土についてPRする機会を設けた。また、終了後は感想文を提出するなど、友好都市の魅力PRを担ってもらっている。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成24年度)	現状のまま継続	別海町中学生が枚方市訪問、菊と緑の会協力、物産展開催、名護市市民訪問ツアー実施、友好都市サミット開催			
一次評価結果 (平成24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストにおいて、事務手順の見直し(菊と緑の会)や事業主体の見直し(市民訪問ツアー)による事業経費の削減が可能としているが具体策は ・事業の見直しが必要では 				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	<p>「菊と緑の会」は別海町の事業で、本市での事務負担は最小限である。友好関係に影響のない範囲でそれを維持する。</p> <p>市民訪問ツアーは訪問先が一巡したので、同行する人員の規模を縮小した。また、実施主体を市から枚方文化観光協会に移管し、特別旅費にかかる経費を抑えた。</p> <p>友好都市という相手のある事業なので、協議の上、事業の見直しを検討する。</p>			